

令和5年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和5年11月23日（祝）10時～12時15分
- 開催場所 我孫子北近隣センター（並木本館）
- 参加者 市民21名
- 出席者 星野市長、山元企画総務部長、中光財政部長、海老原市民生活部長、山本環境経済部長、篠崎建設部長、中場都市部長、担当課長等16名

市民：前回のふれあい懇談会で質問いたしました。市長は私の質問に答えていません。根戸からここへ来るのは大変なのです。今まで、ふれあい懇談会を根戸・久寺家で行った事は、この10年間で全くありません。5月のふれあい懇談会でお願いしましたが、納得がいかない。再度申し上げます。根戸の住民に聞いても、ふれあい懇談会のことについて知らない人がほとんどです。年に2度も行っているところもあれば、根戸のように一度も開催したことがない所もあります。これは不平等ではありませんか。

それと、前回市長は、根戸は柏と隣接していて、交通の便が悪いところだから行かないと言っていました。偏見ではないですか。今日、私は不平等と偏見についてどう思っているのか、お聞きしたい。

市長：このふれあい懇談会は、前の市長の時には年に1回、行っていましたが、私になって年2回、春秋開催するようにしました。そして各回5会場ずつ、我孫子、天王台、湖北、新木、布佐と五つのエリアに分けて、開催をさせていただいているところです。

それぞれの地区では、地区別テーマとしてお話をさせていただいていますが、たまたまその地区に行けないという場合も含めて、共通テーマとして、市内のどこでも聞けるように、まず全体のテーマ。これはどの会場に行っても同じ中身で説明させていただいています。時々、他の地区の方が別の地区に来る場合がございます。そのような状況の中ですと、やはり、それぞれの地区の中で一番集まりやすい会場を設定しているというのが、事実でございます。我孫子地区全体の方々の集まりやすさということを考えたときに、我孫子地区で一番集まりやすい場所として、この北近隣センター、そして南近隣センター、そしてアビスタの3ヶ所では開催したことがあります。アビスタでは若松地区、緑地区、あの辺の方々は非常に集まりやすいのですが、我孫子地区の人が非常に行きづらいという声をいただいたというのも事実でございます。

そういうことを踏まえながら、それぞれのエリアの方々が集まりやすい場所として、会場の選定については我々としても非常に苦慮しているところです。

そして当然、ふれあい懇談会は別にして、根戸地区の問題、あるいは久寺家地区の問題など、それぞれの地区については、個別に近隣センターを使って、エリアを選択させていただき、お邪魔させていただいております。

我孫子市全体の課題については、やはり集まりやすい駅周辺の公共施設を使わせていただいているところです。ここについてはご理解いただくしかないと思っております。

繰り返しになりますが、各地区の問題は、その地区にお邪魔させてもらって、お話をさせていただきますので、ぜひとも呼びいただければと思います。ぜひともご理解ください。

市民：来年度の事業計画予定表を読み上げていただいたのですが、4丁目というのは駅から5分、エスパから5分という位置付けになっていまして、そこに憩いの広場の貯水池を作ったとのことですが、先日の大雨では15分でいっぱいになり、その後、膝上何十センチまでの量の水がでました。そのときにクリーンセンター、課がわからないが、市役所の方と、多分、治水課だと思いますが、3人の方が来たので聞いたところ、全て言うことが違う。これから、集中豪雨は全国的に起きると思いますので、これをどういうふうに打開していかなければいけないか。避難するにしても、床上浸水で車が駄目。

私達の町会は、エスパさんの駐車場と、町会として契約しています。大雨が降ることが予想されれば、そこに避難できるようになっていますが、それすら間に合わない状況でした。今後、どうしていくか。

それからもう一点お聞きしたい。道路のことですが、全部うちの町会は私道であると言っていて、今まで何回も印鑑を町会全員からもらって、公道にしてくれという働き掛けをしました。司法書士にも書類を作っていただいて、そして全部登録したのですが、市は全然受け取らないで、今回の集中豪雨のときに市役所の方が言ったのは、「私道なのだから、自分たちでやってください。」という言葉でした。これでは、私達は一体どうしたらいいだろう。考えが及びませんので、市長さんがいらっしゃるので、とりあえずは、私道を受け取っていただきたい。また、家の中の清掃等を含め、業者への支払いなどの補助などは、どうなっているのでしょうか。お聞きします。

建設部長：我孫子市全体で5年確率降雨ということで整理をしています。まだ終わっていないところが、布佐地区と柴崎・天王台地区となっています。平成20年の既往最大の水害では、時間降雨104mmでありました。床上浸水になってしまった方が多くいらしゃったで、床上浸水を無くそうということで、公助の面では調整池を作り、自助では皆様に土のうを積んでいただいたり、あるいは止水板の工事というのがありますので、そう

いったもので膝下くらいの45センチまでに防ぐなど協定を結んでいたと思います。車などについては、避難できるよう、いこいの広場のカギを自治会様の方に渡していると担当から聞いております。今回は、時間にして104mm、その中の10分間降雨は、10分20分30分この三つの山がございまして、前回は23mm、27mm、26mmで、今回は27.5mm、28.5mm、24.0mmでした。4mmとは少ないように見えますけれども、この辺りの15万2900平方メートルに4.5にかけますと、約700m³あたりの雨が余計に降ったこととなります。今、調整池が15分で満杯になってしまうという話がありましたが、調整池がなければもっと大きな被害があったと思います。今回の件については、12月16日に我孫子4丁目の方々と懇談を行うことになっております。私どもといたしましては、これから調査をしなければならぬのですが、まず皆様のお話をお伺いさせていただければと思います。

私からは以上です。道路の質問については、担当課長からお話しいたします。

道路課長：我孫子4丁目で私道を市道にしてほしいという件につきましては、私の方では承知しておりません。私道を市道にするには、いくつか要件がございまして、当時どういう理由で手続きが出来なかったのかというところは、私の方で把握しておりません。また改めてご相談をしていただきたいと思います。

市 民：司法書士さんだっただと思いますが、10年前にお願いして出しています。私道は全て市に寄付するので、市の道にしてほしい。

道路課長：私道の所有者など当時と変わっている場合もございまして、繰り返しになりますが、要件の確認や必要書類の説明をするので、改めて市にご相談をしていただきたいと思います。

市 長：私が理解している中では、私道を市道にする場合は、要件が満足し、その土地所有者の皆様全員が同意していれば、受け付けております。改めて、その道路を教えてくださいませんか。

4丁目については、私が就任したその年に、時間104mmという最大降雨が降りましたが、対応が全然できておらず、本当に水害に弱い街でした。

いろんな箇所を工事して、ある程度改善してきましたが、我孫子4丁目はあの土地形態ですから、これで終わったとは認識していません。調整池を作りましたが、当然、許容量があります。今回はもっと短時間に凄まじい雨が降りましたから、現実を踏まえ、次へのステップが必要だろうと我々も思っておりますので、これをどうするかとい

うことを、現状把握しながら進めていきたいと思います。お時間をいただきたいと思います。

市 民：今の話と関連して、住民は当然税金を払っていると思います。なぜ、市がやらないのですか。それから、土地開発については、許可しているのだから、責任を負わなくてはならないと思います。それから、排水溝も従来の50mmで設計しているかもしれませんが、場所によっては100mmのところもあるわけです。それから、今の話で本流で別れさせることはできるのではないですか。いずれにしても、土地開発を許可していながら、市の方で買い上げていないなど、市の方針はおかしい。対策をお願いします。

市 長：この件については、確かに税金を収めているでしょうが、水害工事をやる以上の税金を納めるか、それ以下の税金で対応するかがあります。湖北にも手賀沼がありますから、手賀沼は非常に毎年のように洪水が戦後までずっと続いた地区であります。手賀沼・手賀川というのは、水害の出る恐ろしい場所ということは、近くの方は十分承知しています。そういうことを含めると、以前、どれだけの税金を、この水害対策にかけてきたのかという中で、就任して見てびっくりしたのは、我孫子の街はこんなに水害に弱い街で、ほとんど水害対策ができてなかったということは重々承知をしました。

残念ながら8か所の水害の常習地帯があり、早急にあれもこれもやっていけるわけではありません。まず一つずつ、床上浸水の場所から改善していこうということで、調整池だけで対応出来ているところもあり、あらゆる場所で治水が向上しています。

当然、そこには市の単独でも予算が難しいですから、国や県の予算、特に国の予算と一緒に導入しながら、水害対策を向上していくという方針のもと今進めています。

ただ、76年経ってもまだ水が出る地区があるというのは、十分承知の上で水害の工事はこれからも行っていく必要があるというふうに思っています。

その中で、皆様の税金をお預かりしていますが、今450億円ほどの年間予算を組んでいます。これだけで対策ができるのかというと、それですぐ終わるレベルの水害ではないという前提の中で、皆さんが納めている国税についても、しっかりと我孫子のために使わせていただきます。高齢者が多くなる中で、そちらにも税金を使わなければなりません。水害対策には莫大なお金と長い時間がかかります。このことをご理解いただき、またご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

市 民：高齢者支援課が行っております事業で、きらめきデイサービスがありますが、久寺家地区では、いきいきクラブというものがあり、利用させていただいています。

来年度の4月から先行予約ができるようで、これが、なんと月に4回、年間48回を認めているお話があって大変喜んでおり、今日お礼を申し上げますが、民間でも高齢者に対する健康体操など、良いサークルがあるので、民間の方にも優先予約の枠を広げていただきたい。

市長：以前、高齢者支援課の方で行っていた「お休み処」という事業がありました。これは介護保険制度ができる前でしたが、今は廃止いたしました。その理由は介護保険制度がしっかりと進んできて、ただ集まるだけではなく介護予防、フレイル予防という形で、何かしら定期的な運動等を行うという前提で、市が補助対象にしているという状況になっています。おかげで市内でも30か所を超えています。極端に言えば、高齢化率の高いところで空いている家を借り上げて、その場所を使う。あるいは、近隣センターなど集まりやすい場所をかりて、そこを拠点として行い、介護予防をセットにすることで補助対象にしております。これは特に高齢化の高いところで広がってきています。民間の部分につきましては、本日、市民協働推進課長も出席しておりますが、高齢者支援課との協議も必要ですので、持ち帰らせていただきます。優先予約ができるようにということは十分わかりましたので、そこはお時間をいただき、協議をした上でご返答させていただきます。よろしくお願いいたします。

市民：これまでは、大雨が降っても土の部分が多かったのですが、雨も吸い込んでくれて大きな水害はなかったのですが、この10年間、マンションができて、マンションの方から滝のように水が流れてきて、路上も滝のような状況になります。我孫子4丁目に遊水池を造っていただいて、これでこのような状況もなくなるかと思ったのですが、先日の9月20日では、22分間でプール4杯分の雨が降ったことから遊水池が満杯になりました。これでは、すり鉢状上の土地に遊水池をいくら設置しても対応できないと思いました。

エスパ横の国道6号線下の排水管が、6号線の振動で潰れているのではないかとということで、何度かお話ししましたが、結論は出ませんでした。12月16日に水害の被害者との懇談がありますので、市長、建設部長にもご参加をお願いしたいと思います。治水課長にお願いしましたがけれども、感じることは構造的にすり鉢状ですから、やはり国道6号の雨水をどういうふうに吐き出せるかだと思います。雨水管を大きくして、つくし野川の方に流すとか。国との関連もあるでしょうが、研究してほしいと思います。

建設部長：いくつか案をご提示いただきましたが、12月16日の懇談会でお話をさせていただきたいと思います。その中で、国道6号線を横断していた雨水管が九の字に曲がって

いる管があり、以前平成11年にエスパの脇の国道6号線の地下にもっと大きな管を入れ替えしたということです。中央コンピューターの辺りには400mmの管が入っております。曲がっている管にはモルタルを入れて補強し、陥没しないようにしております。つくし野川につきましては、635haという流域面積をもって おります。天王台幹線排水路は約200ha、久寺家排水路、つくし野排水路等がありまして、昭和56年の台風24号の影響により、舟が出るような水害被害がありました。そこから改修工事を行ってまいりました。遊水池の話が出ましたけれども、これは最終的に、つくし野川が満水になる時に効果があります。遊水池とは水害が起きないように排水量をカットして、下流域に水害を行さないような効果を期待するものです。我孫子4丁目にある1,600m³の調整池は、そういう機能を持っております。下流側の水害を緩和する施設です。つくし野川の方とは、若干機能が違います。

市では、床上浸水にならないよう、調整池などを造り、皆様方には土のう等で水が入ってこないよう、ご協力をいただきたいと思っております。今回は平成20年の時よりも10分間での雨量がとても多かったということでございます。12月16日に皆様の声を聞かせていただきながら、お話をさせていただこうと思っております。

市 民：洪水の件ですが、東京都知事の小池さんが、従来の排水場所、設計は10年前の都市計画によるものだという話でした。それでは間に合いません。こういう状況では、それに合わせて都市計画の見直しをしていかななくてはならないと思っております。毎年の財政投資の積み重ねが必要になってきますので、長期的に先を考えた計画づくりが必要と思っております。このような考え方の計画変更はできないか、お聞きしたい。

建設部長：対応を考えますと毎年数億円の投資を行うことと、長期的な時間がかかることになります。エンジンポンプ、電動ポンプや配電盤の交換工事を3年間かけて行うことになっておりますので、現在、こういった対応をしているということでご理解していただきたいと思っております。

市 民：これから工事を進めていく際に、財政的に厳しいのはわかりますが、工事の際に見直しをして50mm対応の管を変更するなど、長期的な先を見込んだ計画を少しずつ変更していくべきではないかということです。

市 長：実際に管を大きくしていくとなると、上流からでは、下流が対応できませんので、下流からとなります。我孫子4丁目から行っても、下流となる並木地区の対応を考

えなければなりません。そうしますと、並木小学校にも影響がでてきます。子供たちが通っている間は、難しいと思います。全体的な対応を考えていかないといけないと思います。企業が支払う税金も、税制改革がなければ東京に入って行ってしまいます。維持管理ですら厳しい状況の中ではありますが、ご意見をいただいた部分も含め、検討していきたいと思います。

市民：市の皆様には、いろいろと協力していただき、感謝しています。一つは我孫子駅北口の美化活動について、ご協力いただき、ありがとうございました。来年の春に、チューリップと桜のフェスタをやろうということで、この両方ともイルミネーションが必要です。道路課の皆さん、関係者の皆さんと相談していきたいと考えています。よろしく願いいたします。それからもう一つ、並木小学校への道路の拡幅も進めていただき、本当に感謝します。質問なのですが、手賀沼周遊レンタサイクルについてです。スマートフォンでの申請など早急に実現してほしいなと思います。サイクリングをする際、柏方面のサイクリングロードはよいのですが、鳥の博物館からフィッシングセンターに向かう手賀沼沿い道路は、樹木の根っこで凸凹であり、また波も受けたりするので、整備が必要であると思います。千葉県土地もあると思いますが、草がぼうぼうであったりするので、桜並木を整備して、綺麗にすることで、人が多く来ると思います。道路の整備、環境を綺麗にしていきたいと思います。

都市部長：手賀沼遊歩道ですが、確かに木の根っこなどの隆起などにより、少しずつ凹凸ができていたりしています。今は親水広場前については、1年ぐらいでポイントを絞りながら整備をしているところであり、隆起が激しいところについては、部分的に整備を行っています。

なお、全体的にも整備計画がありますのでチェックをしながら少しずつですが、定期的に損傷が激しいところから順次整備を進めており、予算の関係もありますが、整備を強化していく考えでおりますので、よろしく願いいたします。

環境経済部長：レンタサイクルですが、先ほど申し上げたようにスマートフォンで申請していただき、無人化で使用できるということで24時間、事前照会システムを来年度から企画しております。これは、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用しますので、交付金が決定する前提でお話しております。この交付金を活用して、電動自転車は4台か5台になると思いますが、皆さまに活用していただき、活用が多ければ、増設も可能になるかと思えます。遊歩道では、広域な部分では千葉県の管轄になると思われ

ますので、引き続き強く千葉県に要望を伝えてまいります。また、市も予算の範囲内で草刈りなども行っております。

建設部長：並木小学校の道路の拡幅の件ですが、先ほど、市長からもお話がありました
が、境界の問題で国道6号線との部分もありますので、そこを解決して来年度に工事が
出来るように進めてまいります。境界の問題もありますので、お時間がかかることをご
理解していただきたいと思います。

市 民：我孫子4丁目に住んでいますが、床下だから床上に比べればたいしたことではな
いと思う方もいらっしゃると思いますが、目に見えない苦勞が結構あります。汲み上げる術が
ないということで、バケツで何時間もかけて水をだしました。私の家の前は遊水池です
が、その施設が何の役にもなっておりません。市として、どのような対処の仕方を考え
ているのか、具体的な話を聞きたいと思います。

建設部長：床下浸水があったということで、お見舞い申し上げます。先ほどの答弁と同じ
になりますが、市の市域全体で同じ確率降雨に対応するように整備を進めております。

この地域では平成20年の最大降雨、時間104mmに対応するように、また、床上になら
ないような整理を、市が公助で行い、自助である皆さんと一緒に協力しながら、床上浸
水にならないようにしようということで、市としては、今お使いいただいております調
整池を造りました。そして、皆さまは、大変申し訳ないのですが止水板の設置ですと
か、床を上げたり、土のうを積んでいただくなど、床上浸水をなくそうということで行
ってきております。今、調整池が何も役に立たなかったというお話がありましたけど
も、何度も話しますように、平成20年の降雨よりも今回の方が雨量は多いのです。前回
よりも700t多く降ったことになります。調整池がなければ、もっと大きな被害になっ
たと思われま

今回は、前回よりも床上浸水が何軒かだけであったから良いのかとお叱りを受けるか
もしれませんが、前回よりも水害は緩和しています。この点については、何卒、ご理解
いただきたいと思います。では、これからどうしたらいいかということについては、12
月16日に懇談会がありますけれども、これから調査をさせていただき、前回と何が違う
のか。今、私の計算でも、前回よりも降雨が多いとわかっていますけれども、それがどう
違うのかなども含めて、我々の方でシミュレーションしてみたいと思っております。何
度もお話しして大変申し訳ないですが、ご理解くださいますよう、お願いいたします。

市長：先ほど申しましたが、私が市長に就任したのが1月で、半年後ぐらいに凄まじいゲリラ豪雨で、85mmでした。その時に4丁目からお声がかかりまして、お話を聞かせていただきました。これまで、12年間市は何もしてくれなかったなど、大変なお怒りを受けました。調整池を作る前は、確かに数十件床上浸水がよくあったという話も聞きました。そういった中で、ここまできましたけれども、もう一工夫必要だと思いました。では、もう一工夫とはどういったことなのかということ、皆様のお時間をいただきながら、調整等をしていく必要があると考えています。ただ、調整していくにも、先ほど提案があったように、国道6号線を抜いていくのであれば、国とも調整していかなければなりませんし、下流に流していくのであれば、並木地区の皆様の安全を確保しなければなりません。こういったことを踏まえながら、課題解決のため、意見交換をさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

市民：学園通り町内会の防災部を担当しております。水害に対しては、市役所の方で検討していただけるようなので、なるべく早くお願いしたいと思います。

私からは、三つほど質問いたします。一つ目は交通関係の問題です。我孫子駅近くの角松旅館の近くの信号ですが、道が変わりまして、寿の防犯ステーションのところの横断歩道が無くなりました。以前にも質問したのですが、警察の問題ですと言われました。進展はどうでしょうか。それから、並木近隣センターの久寺家のところの交差点なのですが、信号が赤になっても車が突っ込んでくるようで、中央学院大学の方から来ると坂道ですので、スピードが出て、とても危険です。これも警察の問題だと思いますけれども、市の方から伝えていただければと思います。それから、地震の方の関係でお話させていただきたいのですが、9月に防災訓練がありまして、水道局の方に行きました。地震が起きた場合の応急給水所の件で、応急給水を確認したところほとんど、小学校で対応されているとのこと。ただ、この地区は並木小学校、根戸小でありますので、結構地区から離れており、そこへ水を取りに行くのには、苦勞する部分があります。水道局の話では、リュックみたいな背負う水袋もありますと言われました。この並木本館も福祉避難所になってしまいますので、お水汲みに行くのにもどこに行ったらいいのだろうと考えております。できれば、給水車など、水だけでも持ってくるようなことはできませんでしょうか。あと、後田公園がありますが、地震の際のトイレ事情を考えて、マンホールトイレの設置を検討していただきたいと思います。中々、避難所に行く人は少ないのではないかと思いますので、そのような配慮をお願いしたいと思います。

また、近隣では住宅が立ち並び、密集化しております。そうすると火災などの発生が

懸念されます。また、高齢化も進んでおります。東京都の一部の地域では、何メートル置きかに消火器を設置しているとも聞いております。我孫子市でもご検討頂ければと思います。

建設部長：一つ目の件ですが、警察の方針です。新しい交差点ができましたので、その手前の横断歩道は、廃止になりました。子供たちの安全を考えると新たな信号のある交差点を渡っていただきたいと思います。久寺家通りの件につきましては、我孫子警察の方に情報提供させていただきます。

市長：給水所及びトイレにつきましては、水道局と話し合いをさせていただきます。今この場所が福祉避難所になったからといって、ここに給水所を設けると、逆に混雑してしまうかもしれませんし、この周辺も含めて、当然移動給水になると思いますので、現時点では近くの公園が一番広いし、タクシープールが橋の下にありますので、非常の際の駐車場に使えるとよいのではないかと思います。少しお時間をください。検討させていただきます。

マンホールトイレについては、学校を中心に設置をしており、子供たちがグラウンドを使用できるよう、支障がないエリアを使用することになります。こちらにつきましても、少しお時間いただければ思っています。

消火器については、まずAEDの設置を24時間営業の全てのコンビニと契約しております。契約期間が切れる時に、いまよりも自動で出来るものに切り替え更新を行う予定でいて、AEDを優先的に進めておりました。

私としては、密集地帯を作りたくないのですが、住宅密集地帯の自治体では消火器の配置は行っているようですので、これもお時間をいただきたいと思います。

市民：田中調節池の越流堤施設の移転についての件です。この事業による危険性の増大について対応していただきたいというお願いです。まず、越流堤の実態ですが、越流堤がそのまま上流に移されるわけではありません。令和元年の東日本台風19号で、洪水となった事例を参考にしまして、越流堤が上流に移設されていたとしたら、どうなっていたかということを実際の記録をベースにして調べてみました。越流堤を移設に合わせて幅も高さも拡大されます。周囲堤が1.43倍に大きくなります。つまり今の越流堤より短時間でより多くの洪水が流入します。今の越流堤は、対岸の稲戸井調節池より下流にあります。移設されますと稲戸井調節池より上流になります。この設置場所は、令和元年の台風19号のときに、計画高水位を超過していた場所です。これらの要因で、令和元年

台風19号のときに越流堤が移設されていた時は、田中調節池の水位が1.3m多く入って、満水の7,100万tになったと推定されます。また、地球温暖化の進展で豪雨の規模が拡大しています。調節池への洪水も、台風19号のときを超える洪水が発生するという心配があります。こうした計画高水位を超える洪水が超過洪水です。国はこうした事態に備えて周囲堤を計画水の高さに2mの余裕高を加えて堤防の嵩上げをしてくれます。しかし超過洪水に備える余裕高を確保するのは、今堤防のある場所です。堤防がない山つきとなっている場所は、その高さが計画高水位より少し高ければ、何もしてくれません。つまり超過洪水が起こるとすぐに、我孫子の市街地に浸水が発生します。越水の高さが20cmの場合、試算しますと235万tの洪水が並木などの住宅地に流れ込み、数メートルの浸水被害も発生します。

国土交通省が同じ山つき部である柴崎産業用地の整備は、余裕高のある国が整備する堤防と同じ高さ以上で整理するように条件をつけてきています。

もし、高さが堤防より2m以上でパチンコ店駐車場の低い山を作るが、現状の高さに問題がないのであれば、産業用地の高さを堤防以上で整備するとの条件は不要なはずで、国土交通省がパチンコ駐車場の高さの場所が不十分と認識していながら、堤防規制する対応をしないのは、我孫子市民へ浸水被害をもたらす原因を放置するものです。

この状況を踏まえて現在の計画で堤防がない後田堤防の隣のパチンコ駐車場の部分も、後田堤防と同じ高さで、堤防新設して、田中調節池との境を全て後田堤防と同じ高さを確保する計画に変更して事業を行うように国に働きかけてくださるようお願い申し上げます。堤防整備により十分な安全が確保されることになるお隣の柏市民と同じレベルの安全安心を我孫子市民にも実現させくださるよう、市役所の皆さんによりしくお願いいたします。

建設部長：ありがとうございます。その件につきましては我々も、市の問題として受け止めて、国土交通省の方にはもう既に働きかけています。国土交通省、利根川上流河川事務所までお願いに行き、問題として取り上げておりますので、我々も進めていきます。ご了解いただければと思います。